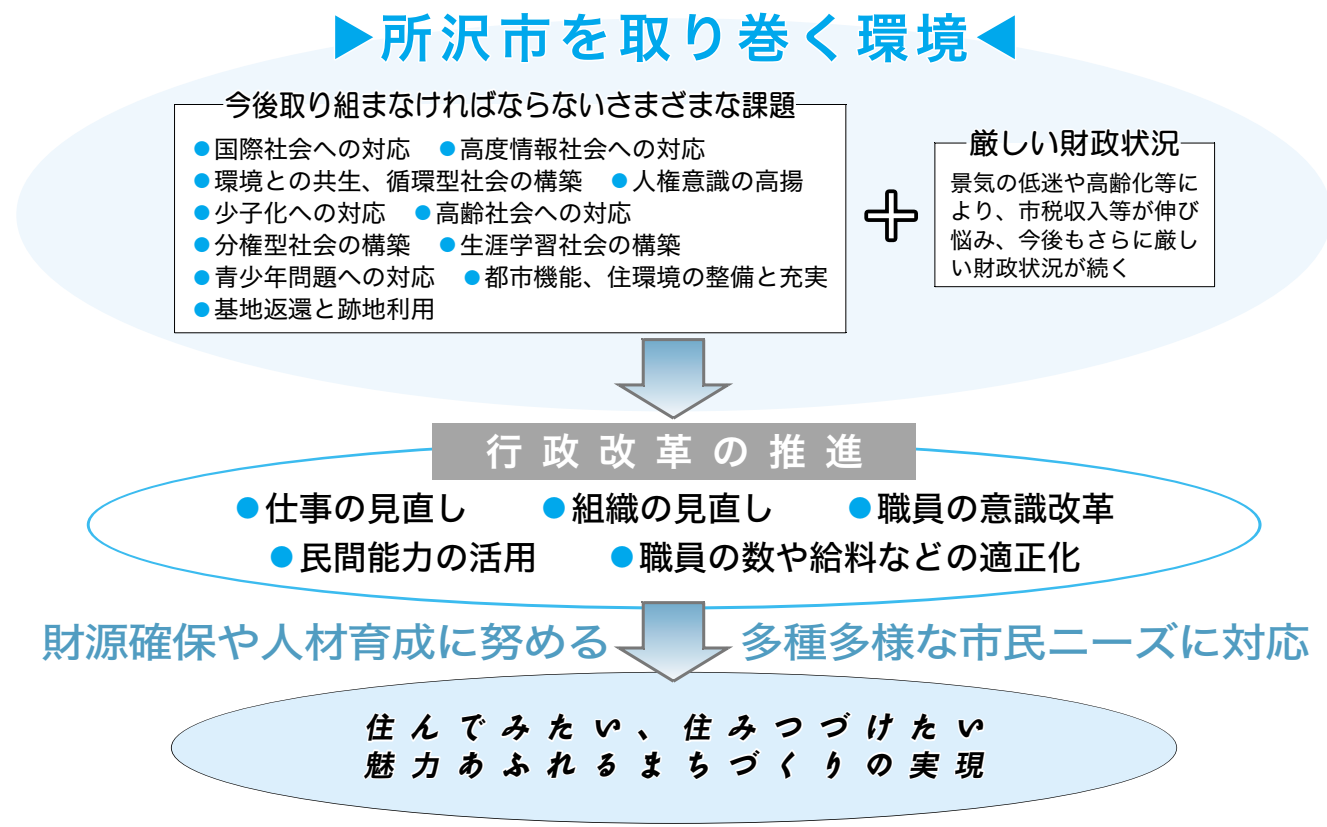


増大する行政課題・限られた財源

所沢市は行政改革を推進します

市では、行政改革を重要課題の一つと位置づけ、全庁的な推進体制のもと、総力をあげて取り組んでいます。長引く景気の低迷から、財源である市税等の自然増を見込むことはむずかしい状況です。限られた財源で最大の効果をあげるためには、これまでにない厳しい姿勢で行政改革に取り組み、増大する行政課題に 대응していくことが重要です。

今回は行政改革の取り組みについてお知らせします。



厳しい財政状況
景気の低迷や高齢化等により、市税収入等が伸び悩み、今後さらに厳しい財政状況が続く

進めよう行政改革
地方分権が進展する中、地方公共団体は、自らの責任と判断で地域の特性を十分に活かした主体的な地域づくりを進め、個性的で活力のある地域社会を創造していくことが期待されています。

また、市民生活の多様化や少子高齢化社会の到来で、今後、財政需要はますます増加してきます。一方、市の財政事情に目を向けると、長引く景気の低迷から一般財源の確保が非常にむずかしい中、少子高齢化社会への対応などに伴い、固定費に支出される経常経費は増加傾向にあります。

◎別掲市の財政将来予測を、参照してください。

現在、市では、魅力あふれるまちづくりの実現のために、市民参加による行政改革推進委員会からのご提言をいただきながら行政改革を進めています。

今年度は次の3つを行政改革の重点課題に定め、具体的な取り組みを行っています。

3つの重点課題

市では、平成8年4月に策定した「所沢市行政改革大綱」に基づき、毎年実施計画を策定し、効率的な行政運営に努めています。今年度の重点課題は次のとおりです。

①事務事業の見直し
行政を取り巻く環境の変化や限られた財源の中、増大する行政課題に柔軟に対応するため、常に問題意識やコスト意識を持ち続けたい。

同時に、創意工夫を凝らし、組織・制度・施策・運営方法など、市役所の仕事全般にわたる見直しに積極的に取り組んでいます。

②民間委託などの推進
厳しい財政状況の中、多種多様な市民ニーズに対応していくため、業務内容によっては、市自らが業務を行うより、専門的な技術や知識を持つ民間企業の活用や、ボランティア、NPO(民間非営利組織)などの活動が、効果的な場合があります。

このため、市では昨年12月に「民間委託等推進のための指針」を策定しました。今後は、委託化への転換が可能な業務は、積極的かつ計画的に推進していきます。

③市民の皆さんへの情報提供
市政を身近なものとするためには、何よりもわかりやすく開かれた市政を推進することが重要です。このため、市は、市民の皆さんに対し、市政における諸活動を説明する責任を積極的に果たし、行政の公正の確保と透明性の向上を図っています。

また、市政への市民参加を一層促進するよう、広報活動の充実を図るなど、情報の提供を進めていきます。

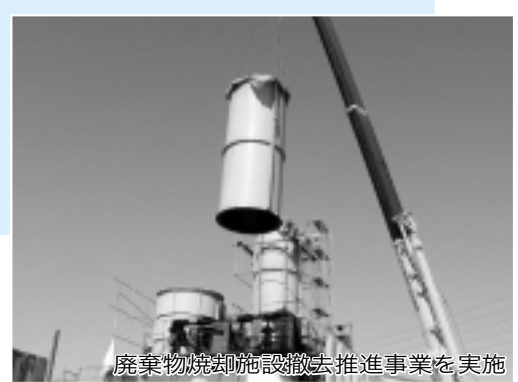
行政改革で約30億円の経費を削減

市では、行政改革の実践的な取り組みとして次のことを実施し、30億3,000万円の経費を削減できました。また、環境改善などの政策に取り組みました。

- 公共工事において、再生砕石や発生土・再生砂などを利用することにより、約5,700万円を削減しました。
- 所沢小学校・小手指小学校単独調理場の学校給食調理業務などの民間委託を実施し、約2,000万円を削減しました。
- 各種補助金の見直しを行い、約829万円を削減しました。
- 職員の給料表の改定を見送り、さらに、期末手当など0.2か月分を減額し、約1億9,600万円を削減しました。
- 積極的に国・県などの補助(金)制度を活用し、約25億6,000万円を確保するなど、歳出の抑制に努めました。
- 新聞、雑誌、ダンボールなど可燃性資源物の集団回収などを実施し、年間6,000トン回収して、リサイクルの推進を図りました。
- 廃棄物焼却施設撤去推進事業を実施して、9事業所12施設を撤去し、焼却処理の抑制を推進しました。
- 事業所用小型焼却炉撤去費補助金交付事業を実施して、90基を撤去し、焼却処理の抑制を推進しました。
- 男女共同参画社会の実現に向け、各種審議会などへの女性委員の割合を拡大し、女性参画促進に努めました。

* * *

行政改革実施計画では、この他にも各所管が取り組む個別実施事項と平成12年度に取り組んだ実績などを掲載しています。



廃棄物焼却施設撤去推進事業を実施

市長インタビュー



行政改革を明日のまちづくりに活かします

行政改革を進めるうえで大切なことをお聞かせください。
高藤市長 市ではさまざまな事業を行っていますが、これらの事業は、市民の皆さんの貴重な税金によってまかなわれており、できるだけその税金を有効に使う必要があります。したがって、私は個々の事業を実施していくうえで、「費用対効果」の重要性を強く感じています。例えば、一つの事業を実施することによって、それが市民の皆さんにどのように還元され、役に立ったのか。その費用と効果を十分視野にいれ、事業の見直しや、新たな事業への取り組みを検討していくことが必要だと考えます。

また、その内容を市民の皆さんによりわかりやすく伝えることが重要だと思います。

具体的な取り組みとしてはいかがでしょうか。
市長 昨年度は、バランスシートを作成して市の資産と負債を明らかにしました。今年度は、さらにいろいろな事業や施設の建設、あるいは運営にどのくらいの費用がかかっているか、そしてどのくらいの成果が上がっているかについて、行政評価システムの導入に向けた検討や行政コスト計算書を作成していきます。

貴重な財源を有効に活用するためにも施策の効果を最大限に活かすべく知恵を絞る、全ての仕事を改めて見直していきます。また、時代やニーズに合わなくなった事業は思いきって廃止するなど、その予算を明日の所沢市のまちづくりに活かしていきます。

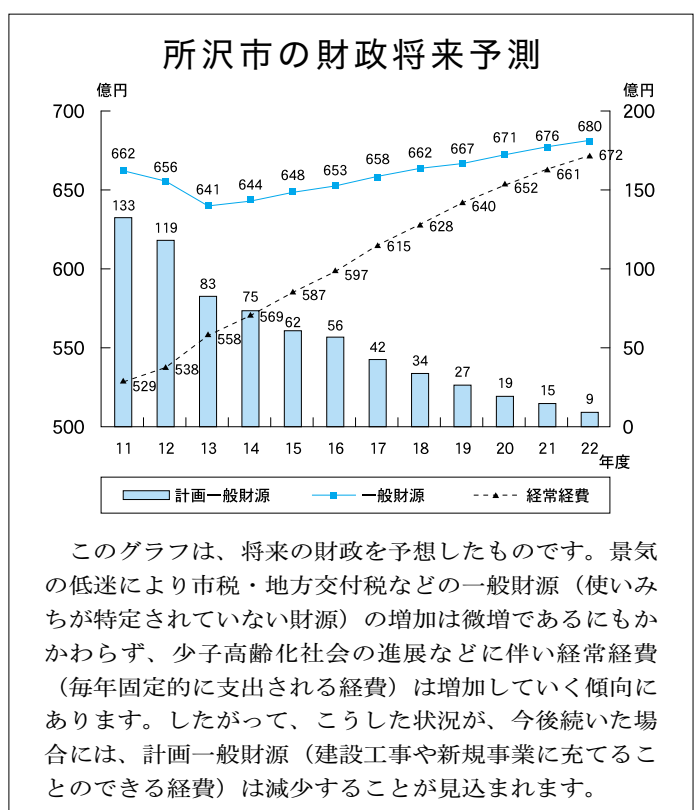
今後も、市民の皆さんに「住んでよかった」と実感していただけるよう、質の高いサービスを目指して、全職員一丸となって行政改革を進めていきます。



可燃性資源物の集団回収を実施


重点課題を踏まえた具体的な取り組み
今年度は、行政評価システムや行政コスト計算書など221項目に取り組みます。この中から主な取り組みを紹介します。

●行政評価システムの導入
「行政需要にあったサービスが提供されているか」、「この仕事は市民サービス向上に有効か」、「仕事の内容をわかりやすく説明でき



このグラフは、将来の財政を予想したものです。景気の低迷により市税・地方交付税などの一般財源(使いみちが特定されていない財源)の増加は微増であるにもかかわらず、少子高齢化社会の進展などに伴い経常経費(毎年固定的に支出される経費)は増加していく傾向にあります。したがって、こうした状況が、今後続いた場合には、計画一般財源(建設工事や新規事業に充てることのできる経費)は減少することが見込まれます。

新しい感覚で市民サービスを




新倉 昭一さん (下安松在住)

私は自動車の整備関係の仕事をしています。毎日フロントから現場までのすべての作業をこなさなければなりません。仕事のうえでは、「縦割り構造」はありません。出張所や公民館をよく利用しますが、いっしょにできないものなのでしょうか。休みの日も利用でき、効率良く運営できると思うからです。

新しい感覚で、誰もが利用しやすい市民サービスを実現することが、重要なことで、今の行政に求められているテーマだと思います。

行革に期待すること



河野 久美さん (三ヶ島在住)

先日、介護保険制度と向き合う機会を得ました。サービス等が充実する一方で、複雑な制度の内容をよりわかりやすく伝えてほしいですね。

行政改革に伴い、私たち市民も積極的に市政に参加しなければなりません。地元自治会で班長を務めながら、小さな活動が何かの形で市政に役立つよう、心掛けています。

市の財政のやりくりも大変だと思いますが、諸費用の見直しやむだを無くすなど、基本的な改善が必要ではないかと感じています。



ランチルームでのおいしい給食(所沢小学校)

る」など、市民の皆さんの視点に立ち、成果および客観性を重視した、所沢市にふさわしいシステムを構築します。

●行政コスト計算書の作成
行政サービスには、どれだけの費用がかかっているのかを「人にかかると費用」「物にかかると費用」など4項目に分類して明らかにします。

この他に施設ごとにかかる費用についても明らかにします。

●公文書公開条例の見直し
市の諸活動を市民の皆さんに正確に説明していくとともに、行政の公正の確保と透明性の向上を図ります。

また、行政機関の保有する情報の公開に関する法律の制定などに伴い、公文書公開条例を全面的に見直し、市政に関する情報のより一層の公開を進めます。

●個人情報保護条例の制定
市が保有する自己に関する個人情報等の開示および訂正などを請求する権利を保障していきます。同時に個人情報の適正な取扱いについての基本的事項を定めることと、個人の権利・利益の保護を図り、公正で信頼される市政をより一層推進します。

●IT(情報通信技術)時代に向けての電子市役所の構築
行政のさまざまな分野で、ITを最大限に活用し、行政手続きの簡素化・効率化を図ります。

また、市民の皆さんの利便性および情報リテラシーの向上に努め、IT時代に迅速・柔軟に対応できるように電子市役所を構築します。

また、個人情報の保護、セキュリティ対策など情報環境の整備を進めます。

※情報リテラシー…コンピュータに対するアレルギーをなくし、操作になれることなども含めた情報活用能力

* * *

行政改革の取り組みや成果については、広報などを通じて今後も市民の皆さんにわかりやすい形でお知らせしていきます。

平成13年度版行政改革実施計画は、市役所1階・市政情報センター、各出張所、各図書館またはホームページでご覧いただけます。

【FAX】 http://www.city.tokorozawa.saitama.jp
問い合わせ 行政管理課 ☎99-9246